

日本人の生き方引き継ごう

博多の歴女 白駒さんが熱いメッセージ

和田勇シンポジウム

御坊市の官民でつくる和田勇顕彰会(吉田擴会長)主催の和田勇シンポジウムが15日に市民文化会館小ホールで開催され、大病を克服し、歴史の人物紹介を通じて日本人の素晴らしさを発信している博多の歴女、白駒妃登美さんが講演。1964年東京オリンピック招致に尽力した和田氏の生い立ちや功績を紹介し、「日本人の生き方そのもの。和田さんの志を皆さんで引き継いでいこう」と客席の450人に熱いメッセージを送った。

「わたし以上に和田功績を通じて日本人として紹介し、21歳でオーストラリアにホームステイした



和田氏の遺影の前で講演する白駒さん

だから」と和田さんの

経験から、語学や知識よりも、先人たちが育んでくれたことを身に付けている人、自分が生まれ育った国の歴史を理解している、そんな「ちゃんとした日本人になること」が国際人のスタートラインだと痛感したことを説いたことが、偉業に大

明。「和田さんは真の国きな影響を与えている人」とした上で、和歌山県には困った人を放つておけない日本人特有の美德があふれているとし、明治23年のエルトゥールル号座礁での串本町民の献身的な活動、400年前、真田幸村を勇にした九度山町民の惻隱の情、實島高校の故尾藤公前監督のエピソードを交えて紹介。「和田さんは本当に素晴らしいが、育んだのは和歌山

謝の人生。日本人は志を大切にしてきた。志が続いている。いま生ききく語った。講演の前には昨年度

は誰かに受け継がれている私たちが先人た。日本の歴史は志のちの思いを受け継いで最優秀賞の力津彩愛

リレーに本質があり、生きれば先人の思いで永遠に続く。皆さん、さん(志賀小6年)と森

和田さんは日本人の本は永遠に続く。皆さん、さん(志賀小6年)と森

質を体現する人。思いぜひこの思いを継承し山菜奈さん(御坊中3

が脈々とこの地に生きていって下さい」と熱年が作品を発表した。

山県には困った人を放つておけない日本人特有の美德があふれているとし、明治23年のエルトゥールル号座礁での串本町民の献身的な活動、400年前、真田幸村を勇にした九度山町民の惻隱の情、實島高校の故尾藤公前監督のエピソードを交えて紹介。「和田さんは本当に素晴らしいが、育んだのは和歌山

謝の人生。日本人は志を大切にしてきた。志が続いている。いま生ききく語った。講演の前には昨年度

は誰かに受け継がれている私たちが先人た。日本の歴史は志のちの思いを受け継いで最優秀賞の力津彩愛

リレーに本質があり、生きれば先人の思いで永遠に続く。皆さん、さん(志賀小6年)と森

和田さんは日本人の本は永遠に続く。皆さん、さん(志賀小6年)と森